

2017 年 12 月期全塾協議会定例会議事録

2018 年 5 月 14 日

全塾協議会

全塾協議会規約 第 27 条第 1 項に基づき、2017 年 12 月 21 日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。

議事概要記録

名称	2017 年 12 月期全塾協議会定例会
場所	三田キャンパス 南校舎 463 教室
日時	2017 年 12 月 21 日 19:15～20:58

出席者

	塾生代表	村野元紀
文化団体連盟	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	貴田航
体育会本部	体育会本部 主幹代理	川島友花里
全国慶應学生会連盟	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	増田碧
全塾ゼミナール委員会	全塾ゼミナール委員会 委員長	松岡佳那
四谷自治会	四谷自治会 会長	尾野光祐
芝学友会	芝学友会 会長	中込愛
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	鞍馬進之介
	全塾協議会事務局 事務局長	丹羽直也
	全塾協議会事務局より他 10 名	
以下議案提出者	三田祭実行委員会 財務局長	佐久間彩
	矢上祭実行委員会 委員長	本村壮太
	矢上祭実行委員会 財務	清水悠香
	国際関係会 代表	中嶋勇太
	国際関係会 財務	小池優美子
	体育会本部 主幹	平野皓大
	福利厚生機関 代表	鞍馬進之介
	オリエンテーション実行委員会 財務	山下将史
	共済部 代表	間宮涼介
	法学部法律学科ゼミナール委員会	荒木海
	全国慶應学生会連盟 常任委員長	増田碧
	全国慶應学生会連盟 財務	尾関大地
	塾生代表	村野元紀
	應援指導部 会計	高橋真彦
	應援指導部 吹奏楽団会計	柴田暁人

應援指導部 チアリーディング部会計 合田萌映
應援指導部 定演会計 南原理沙
全塾協議会事務局 事務局長 丹羽直也

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 丹羽直也
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 村野元紀
3. 定足数確認	総務部長代理 上島葵
4. 配布資料の確認	
5. 前回議事録の確認	
6. 議長の指名	
7. 報告事項	
(1) 塾生代表報告	塾生代表 村野元紀
(2) 事務局報告	
i. 事務局長報告	事務局長 丹羽直也
ii. 総務部報告	事務局長 丹羽直也
iii. 財務部報告	財務部長 山隈一久
iv. 広報部報告	事務局長 丹羽直也
v. 管理部報告	管理部長 岩館則明
(3) その他	
8. 協議事項	
(1) 三田祭実行委員会の代交代承認	三田祭実行委員会 財務局長 佐久間彩
(2) 矢上祭実行委員会の代交代承認申請	矢上祭実行委員会 委員長 本村壮太
(3) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請	矢上祭実行委員会 財務 清水悠香
(4) 国際関係会の代交代承認申請	国際関係会 代表 中嶋勇太
(5) 国際関係会の独自財源特別支出承認申請	国際関係会 財務 小池優美子
(6) 体育会本部の代交代承認申請	体育会本部 主幹 平野皓大
(7) 福利厚生機関の代交代承認申請	福利厚生機関 代表 鞍馬進之介
(8) オリエンテーション実行委員会の独自財源特別支出承認申請	オリエンテーション実行委員会 財務 山下将史
(9) 共済部の独自財源特別支出承認申請	共済部 代表 間宮涼介
(10) 法学部法律学科ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請	法学部法律学科ゼミナール委員会 財務 荒木海

項目	担当・議案提出者
(11) 全国慶應学生会連盟の自治会費交付金特別支出承認申請	全国慶應学生会連盟常任委員会 財務 尾関大地
(12) 塾生代表による所属団体に関する議案	塾生代表 村野元紀
(13) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請	應援指導部 会計 高橋真彦
(14) 應援指導部の交付金特別支出承認申請	應援指導部 会計 高橋真彦
(15) 應援指導部の代交代承認申請	應援指導部 会計 高橋真彦
(16) 全塾協議会情報管理規則制定の発議	全塾協議会事務局 事務局長 丹羽直也
9. 連絡事項	
(1) 次回全塾協議会の日程	事務局長 丹羽直也
10. 閉会宣言	事務局長 丹羽直也

議決事項

内容	可否	番号
(1) 三田祭実行委員会の代交代承認	可決	106 号
(2) 矢上祭実行委員会の代交代承認申請	可決	107 号
(3) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請	可決	108 号
(4) 国際関係会の代交代承認申請	可決	109 号
(5) 国際関係会の独自財源特別支出承認申請	可決(修正)	110 号
(6) 体育会本部の代交代承認申請	可決(修正)	111 号
(7) 福利厚生機関の代交代承認申請	可決	112 号
(8) オリエンテーション実行委員会の独自財源特別支出承認申請	可決	113 号
(9) 共済部の独自財源特別支出承認申請	可決(修正)	114 号
(10) 法学部法律学科ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請	可決	115 号
(11) 全国慶應学生会連盟の自治会費交付金特別支出承認申請	可決	116 号
(12) 塾生代表による所属団体に関する議案	可決	117 号
(13) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請	可決(修正)	118 号
(14) 應援指導部の交付金特別支出承認申請	可決(修正)	119 号
(15) 應援指導部の代交代承認申請	可決(修正)	120 号
(16) 全塾協議会情報管理規則制定の発議	可決	121 号

2018 年 1 月 13 日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局長 丹羽 直也

(署名)

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 村野 元紀

(署名)

全塾協議会 議長 増田 碧

(署名)

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 丹羽直也が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 村野元紀が挨拶を行った。

3. 定足数確認

総務部長代理 上島葵による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。
(福利厚生機関代表は遅刻)

4. 配布資料確認

総務部長代理 上島葵が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 前回議事録の確認

総務部長代理 上島葵が、9月期分までは配信済みであり10月期と11月期分の議事録は作成中であるため、完成し次第、確認と公開を行う旨を報告した。

6. 議長の指名

総務部長代理 上島葵は、全塾協議会規約 第16条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致を以って全国慶應学生連盟常任委員会 委員長 増田碧が議長に選任された。

7. 報告事項

(1) 塾生代表からの業務報告

Student Counselors が部室で物を燃やした案件とそれに関する処分について報告した。

(2) 事務局からの業務報告

i. 事務局長報告

Student Counselors が部室で物を燃やした案件の監査について報告した。

ii. 総務部報告

通常業務を行っている旨を報告した。

また、9月期議事録が完成し10月期は作業中であること、申請書の回収を行っていることを報告した。

iii. 財務部報告

財務管理の手引きの更新や財務講習会への招待、個人情報取扱説明書の対応について、ならびに全塾協議会事務局の slack を使って緊急時の連携体制を構築することを報告した。

iv. 広報部報告

塾生代表選挙の公報に協力し、事務局の LINE@ の試験運用を報告し、登録を呼びかけた。

v. 管理部報告

事務局保有文書の整理を行っている旨を報告した。

(3) その他

塾生代表と事務局長より、塾生代表選挙が明日までであり投票を促すようにとの連絡がされた。

8. 協議事項

(1) 三田祭実行委員会の代交代承認申請

三田祭実行委員会より代交代承認申請が上程され、新委員長には馬場永希也が就任した。

担当者より 2017 年の三田祭が無事終了したこと、そのため第 60 回三田祭実行委員会が発足したことが報告された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

この日第 59 代三田祭実行委員会委員長は不在であったが、新委員長ならびに新財務部長より挨拶があった。

(2) 矢上祭実行委員会の代交代承認申請

矢上祭実行委員会より代交代承認申請が上程され、新委員長には本村壮太、新財務には清水悠香が就任した。

担当者より代交代の説明、ならびに第 18 回矢上祭の終了の報告があった。また新委員長ならびに新財務担当者より挨拶があった。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

また新委員長ならびに新財務担当者より挨拶があった。さらに塾生代表が、保険の変更などを実施するよう呼びかけた。

(3) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が 1 番項から 9 番項まで上程された。

1 番項は、渉外における交通費 6,000 円(1 月分 3,000 円、2 月分 3,000 円)である。

2 番項は、来場客に配布する手作りキャンドルの製作のための費用 1,084 円(ローソク大 434 円×2 箱、アロマ 216 円)である。

3 番項は、Winter Concert 協力機関であるラ・ポワールへのお礼の品代 1,620 円(お礼の品代 1,620 円)である。

4 番項は、Winter Concert へ招聘した団体の接待につかう菓子・飲料代 2,760 円(お菓子 1,788 円、飲料 972 円)である。

5 番項は、Winter Concert におけるレクリエーションで配布する景品代 535 円(お菓子 535 円)である。

6 番項は、Winter Concert における目利き企画で用いる菓子代 132 円(大福×5 個 132 円)である。

7 番項は広報活動におけるポスター郵送費 3,240 円(レターバックライト 3,240 円 (360 円×9 枚))である。

8 番項はミス・ミスターコンテストのミス候補者のウェディングドレス試着会場への交通費 1,474 円

(日吉駅～渋谷駅往復料金 308 円 (片道 154 円)、渋谷駅～日進駅往復料金 1166 円 (片道 583 円))である。

9 番項は渉外活動における書類の輸送のための切手代 2,000 円(切手 1500 円 (120 円切手×12 枚、10 円切手×6 枚)、切手 500 円 (250 円切手×2 枚))である。

事務局長が 4 番項の大福 5 個で 132 円という価格に対して疑問を投げるも、担当者により事実と確認された。

また事務局員より 1 番項の費用の算定根拠について質問すると、担当者より昨年の費用を参考にしたとの回答があり、今後は算定根拠を出すと答えた。事務局長は算出基準ができるよう努力するといった。

さらに文化団体連盟より 3 番項は何を購入したのか質問があり、担当者は菓子類のようなものだと回答した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(4) 国際関係会の代交代承認申請

国際関係会より代交代承認申請が上程され、新代表には伊藤惇貴、新財務には望月彩登が就任した。担当者より 10 月中旬の役員選挙で新代表と新財務局長が決まった旨が報告された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

新代表ならびに新財務担当者より挨拶があった。

(5) 国際関係会の独自財源特別支出承認申請

国際関係会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、①春季プログラムで引き受けてもらうホストファミリーを招いた懇親会における飲食費 15,000 円、②追い出しコンパの会場費補助として 370,000 円、③追いコンで 4 年生に贈る花束代 50,000 円、④追いコンで 4 年生に贈る色紙代 5,000 円である。

担当者は③について 50,000 円から 60,000 円に修正し、④について 5,000 円から 6,000 円に修正すると説明した。また担当者より、②の会場は毎年銀座であるとの説明がなされた。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は修正案を承認した。

(6) 体育会本部の代交代承認申請

体育会本部より代交代承認申請が上程され、新主幹に川島友花里、新財務に川島友花里が就任した。担当者より 1 月 12 日に代交代が行われること、新任の川島が主観と財務の両方を担当することが説明された。議場より兼任は大丈夫なのかと質問があり、事務局長が主幹と財務の兼任に問題はないと回答した。また資料における年度の書き間違いが報告され、平成 28 年度は平成 29 年度、平成 29 年度は平成 30 年度であることが確認された。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は修正案を承認した。

(7) 福利厚生機関の代交代承認申請

福利厚生機関より代交代承認申請が上程され、新代表には田坂壮、新会計には中林典子が就任した。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

新代表ならびに新会計より挨拶があった。

(8) オリエンテーション実行委員会の独自財源特別支出承認申請

オリエンテーション実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。その内容は、①オリエンテーション総会にて使用する資料などの印刷費 5,000 円(PASMO のデポジット 500 円、チャージ金 4,500 円)である。

担当者より IC カード紛失に関する謝罪があり、これに対して事務局長より再発防止にむけた管理体制の構築が要請された。担当者より紛失に関して、前任の財務が IC カードを個人所有しており、それを借りていたオリエン実行委員会の活動期間終了後に全国慶應学生会連盟の財務責任者が部室に放置して慶早戦支援委員会と同じ棚に保存したことで混ざったことが原因であるとの説明がなされ、対策としてオリエンテーション実行委員会が活動しない期間は財務の個人管理にするとした。ここで全国慶應学生会連盟より、紛失額がなぜ把握できているのかとの質問があり、担当者は決算書類を作成する際の書類から引張り出したと答えた。

全塾協議会は本件を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(9) 共済部の独自財源特別支出承認申請

共済部より独自財源特別支出承認申請が 1 番項から 2 番項まで上程された。

1 番項は、①下宿紹介における日吉駅までの交通費 12,000 円(東急日吉駅～京急青物横丁駅 440 円×往復 2×10×1 人=8,800 円、東急日吉駅～東急梶ヶ谷駅 220 円×往復 2×10×1 人=4,400 円、東急日吉駅～東急新丸子駅 160 円×往復 2×10×1 人=3,200 円、東急日吉駅～東急綱島駅 130 円×往復 2×10×2 人=5,200 円、東急日吉駅～東京メトロ後楽園駅 420 円×往復 2×20×1 人=16,800 円、東急日吉駅～JR 上中里駅 530 円×往復 2×20×1 人=21,200 円、東急日吉駅～JR 茅ヶ崎駅 700 円×往復 2×2×1 人=2,800 円、東急日吉駅～JR 新川崎駅 270 円×往復 2×10×3 人=16,200 円)である。

2 番項は、②下宿紹介昼食代 161,000 円(23 日間×一日当たりシフト予定 10 人×一食当たり 700 円=161,000 円)である。

担当者は①について、東急日吉駅～JR 茅ヶ崎駅の運賃の 2,800 円を 28,000 円に修正し、東急日吉駅～JR 新川崎駅の運賃の 16,200 円を 32,400 円に修正すると説明した。また担当者は、回数券の購入で領収書をもっていること、食費は多くのシフト予定を入れたため高くなっていることが説明された。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(10) 法学部法律学科ゼミナール委員会の独自財源特別支出承認申請

法学部法律学科ゼミナール委員会より独自財源特別支出申請が上程された。その内容は、①三田祭講演会用ポスターデザインに対する贈答品代 5,000 円、②切手代 386 円(三田祭講演会チラシ見本を八代英輝氏事務所へ送付する際の郵送費 140 円、大型ポスター印刷業者へ領収書の請求をした際の郵送費 82 円、領収書返送用切手代 82 円、八代英輝氏への講演会御礼状送付に係る切手代 82 円)である。

担当者より、ポスターは政治学科の知人が武蔵野美術大学の人に依頼したことが説明された。

また、先月の定例会で承認された交通費の訂正が申告され、28,356 円から 28,176 円へと修正がなされた。担当者は、これは交通費の一部で日吉～渋谷間の運賃を誤って 400 円で計算していたためであると説明した。事務局長により訂正に関して新たな議案を作る必要はないとの判断が下された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(11) 全国慶應学生会連盟の自治会費交付金特別支出承認申請

全国慶應学生会連盟より自治会費交付金特別支出承認申請が上程された。その内容は、①宇都宮三田会

訪問時の交通費 8,840 円((¥1950+¥2470) ×2 (往復))、②横浜三田会訪問時の交通費 2,290 円(日吉～元町・中華街 410 円×2、三田～元町・中華街 1,470 円)である。

担当者より②は事後申請であることが説明された。芝学友会から決めた交通費の行方を尋ねられ、担当者より制限内で支出しており三田会は 3 万以下、交流会は 10 万以下の限度を守っているとの返答があった。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(12) 塾生代表による所属団体に関する議案

塾生代表より所属団体に関する議案が上程された。その内容は、塾生会館運営委員会からの Students Counselors が部室で段ボールを燃やしたとの報告に関する事案への対応についてである。全塾協議会事務局にて監査を行い、12 月期定例会で協議する運びとなった。

塾生会館運営委員会より現状説明がなされた。段ボール燃焼事件以前に SC は部室の原点が 6 点分溜まっており、また 10 月 17 日には警備室から Students Counselors の部室の未施錠の報告を受けた。10 月 19 日には塾生会館 1 階に煙が漂っており、臭いがきつかったため Students Counselors に問うたところ、おばあさんの家ではいつもしているとの返答があった。この二件、火気使用と部室未施錠で原点数が累計 14 点となった。通常、部室の退去は即日ではないが、本件は悪質であったため即日退去処分を下した。また、Students Counselors が以前部室退去になった際に、団体として個人情報を持っているとの理由ですぐにまた部室へ入居してしまったことがあった。それ避けるために個人情報の所持如何を日吉学生部及び学生相談室へ問い合わせたところ、この数年間個人情報を含む資料を渡していなかったため、Students Counselors の財務アカウントと代表アカウントへ退去を知らせた。11 月 10 日には Students Counselors の代表から確認の連絡があったが、同 28 日の塾生会館全体の粗大ごみ回収の際に Students Counselors から粗大ごみは何も出ていなかったため連絡をした。1 か月の退去期間があったにも関わらず進展がなかったということである。翌日 Students Counselors より、部室が片付かなかった場合はどうするか、と尋ねられたが、事務員より、より重い処分が下るだろうことが説明されると、そこから部室の撤去作業が開始された。12 月 5 日に粗大ごみの処分が行われたが、処分に費用は発生しなかった。以上より、102L 内には個人情報を含む資料は存在せず、最初のメールと撤去作業進捗確認のメールの二回ともに個人情報を持っていないとの旨を書いていたのにも関わらず個人情報を所持していた。Students Counselors の代表と 12 月 8 日の午前 2 時にコンタクトがとれ、同日に代表により個人情報が返却された。また、粗大ごみを回収し、処理が完了した。

塾生代表が、塾生代表と事務局長とで学生総合センター長と話し合いをしたところ、学生自治に任せると言われたことを報告した。

また事務局長により二次監査の結果報告がなされた。本二次監査では所属団体業務のすべてが監査対象であり、三田部室も同様に退去の勧告をすることが報告された。

文化団体連盟により要因の説明がなされ、昨年度の Students Counselors に関しては学生健保と統合しようとしたところ、聞いていないとの報告をし、話し合いを行ったときに Students Counselors は回答保留にしたものがあるにも関わらず、連絡がつかなくなり、且つ総会での報告も連絡もないため、10 月中に Students Counselors との面談が実現できなければ退去であると通達したところ Students Counselors は体調不良を理由に面談をキャンセルし、10 月を過ぎても面談ができなかったため退去となった。三田祭期間中に学生団ルーム 36 番への入居希望者を募集し急遽作業を行ったところ、不審人物が部室にやっ

てきてジュースをこぼしていき、3人の男性が入室していった、という不審な出来事があったことが報告された。聞き取り調査は2時間ほどであり、活動計画書の通りに活動しているかを調査したところ、3月に履修やサークルの相談をしていたが、オープンキャンパスでは入学センターから依頼がなかったとのことであった。また調査によって Students Counselors が新生へへの部室使用研修を実施していなかったことも判明した。

塾生会館運営委員会より、三田部室の退去の原因は喫煙があったのではないかと質問がなされ、文連は喫煙の報告は受けておらず、三田部室の退去は連絡がつかないためであり、部室は週2、3回使用していたが、適切な利用であったとの説明がなされた。

塾生代表により、Students Counselors の今後の方針決めが提唱され、事務局長により、①処分審査会を作る②Students Counselors の団体資格停止が可能である旨、またその処分が全塾協議会規約第7条に該当するかどうかの問題であるとの説明がなされた。

塾生代表は自治活動を行っているのかが焦点であり、普通のサークルとして存在させる方向性を示した。事務局長により全塾協議会処分規則の11条に示されており、6つの処分方法があることが説明され、処分方針を検討する処分審査会の設置が提唱された。全国慶應学生会連盟より処分審査会には誰が入るのが質問され、事務局長により塾生代表の指名により、全塾協議会が承認し、組織されとの回答があった。

全塾ゼミナール委員会により、代表者がいない場で処分を決定することは可哀想であるため、処分審査会に代表を招集することが適当であるとの意見があり、事務局長より、12月議会に出席したいとの旨が Students Counselors よりあったが、結局欠席であった旨が説明された。

塾生会館運営委員会より Students Counselors が全塾協議会の所属団体である以上、学生自治は原則であるため、他の模範となるべき団体でこのような不祥事が起きたことに関して学生部の判断の後に処分を決定することは学生自治を放棄することになるため、迅速に進めるべきとの意見が出た。これに関して事務局長より、議長権限で代表を招集することが可能であり、どうするかを一致させたいとの意見が出た。全国慶應学生会連盟は議長権限として来月の定例会に Students Counselors の代表を招集したいと述べ、招集した上で来月の定例会へ出頭しなければ代表なしでその後の処分を決めるとした。代表だけを招集するのか、他の構成員を招集するのかということに関しては、前代表と現代表の二人に話を聞くのが良いのではないかと意見が出たことを受け、現代表、前代表、そして構成員を招集することで決定した。

(13) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源特別支出承認申請が1番項から5番項まで上程された。

1番項は、①渉外活動、起業応援参加の際の交通費などの補助としての部員還元金 737,000 円、②体育会への日本酒贈呈式用の日本酒として 4,350 円、③前期不足分の応援、練習時用の給水用品購入代 8,000 円、④後期不足分の応援、練習時用の給水用品購入代 25,946 円、⑤後期リーダー部納会費用 100,000 円 (4,000 円×25 人)である。

全国慶應学生会連盟より個々の支出日が質問されたが、担当者より支出日が多かったためまとめたとの返答があった。

2番項は、⑥慶早戦応援の際の手土産代 2,808 円、⑦秋季慶早戦販売用タオル作成のため 1,425,600 円 (タオル 4,000 枚)、⑧応援時熱中症対策用の氷代 2,592 円(7kg)、⑨部員個人所有の正部員腕章作成費

89,424 円(40 本)、⑩部員個人所有の正部員バッヂ作成代 19,278 円(30 個)、⑪慶早デモンストレーションで使用したサイン用の色紙代 864 円(8 枚)、⑫SNS 企画の景品代 1,645 円(キャップ 1 つ)、⑬野球慶早戦内野音響費 2,739,714 円、⑭野球慶早戦外野音響費 10,127 円、⑮野球慶早戦前の慶應義塾大学と早稲田大学の両校の応援部による会議開催費 100,000 円、⑯野球慶早戦招致団体のチケット代 163,000 円、⑰活動記録写真の撮影費 459,260 円、⑱器材運搬車の固定駐車代 16,200 円(1 か月分)、⑲器材運搬車の活動時の駐車場代 16,400 円(7 回分)、⑳レンタカー借用代として 63,305 円、㉑部員向けの器材者運用講習会謝礼金として 80,000 円である。

担当者より、⑬について 2,739,714 円を 273,971 円に修正し、⑱について 16,200 円(1 か月分)を 32,400 円(2 か月分)に修正すると説明した。事務局長より、慶早戦のチケット代に放送研究会や無線工学会の分を払っているのかとの質問があり、担当者は無線工学会は全額負担で放送研究会は 160 人分までを負担していると回答した。

3 番項は、㉒東京都大学吹奏楽連盟とその加盟校への祝電 5,328 円(592 円×9 通)、㉓定期演奏会指揮代 100,000 円(100,000 円×定期演奏会一回分)、㉔神宮球場における指導料 5,000 円(1,000 円×5 回)、㉕秋季合宿における杉山先生の宿泊費 25,920 円(4 泊 5 日)、㉖渉外活動参加に伴う還元金として 354,000 円(8~12 月分(渉外活動 1000 円、レッスン参加 4 回につき 3000 円))である。

担当者より、贈り物はパートごとに異なる先生に渡していると説明がされた。

4 番項は、㉗チア納会代 204,000 円 (3,000 円×68 人分)、㉘部員への還元金として 1,384,490 円、㉙負傷した部員を病院へ搬送した際のタクシー代 2,480 円、㉚一年間のお礼としてレスリング部の飲食費 950 円(菓子折り 648 円+飲み物 302 円)、㉛8 月分と 9 月分のコーチ代追加分として 136,196 円、㉜10 月分と 11 月分のコーチ代追加分として 62,264 円、㉝12 月分のコーチ代追加分として 200,000 円、㉞OG コーチの交通費 4,365 円、㉟器材車の駐車場代 900 円である。

全国慶應学生会連盟より、お弁当代の関係者の詳細について質問があり、担当者は当日に手伝うリーダー、エキストラ、照明担当者であると答えた。

4 番項は、㉟定期演奏会関係業者への菓子折り代 4,800 円(2 箱)、㊱定期演奏会出演のエキストラ代 20,000 円(6 名)、㊲定期演奏会当日の関係者昼食代 52,000 円(80 個)、㊳定期演奏会当日に渡すお花代 10,260 円(3 束)、㊴定期演奏会器材運搬用のレンタカー代 17,172 円(1 台)である。

担当者より、交付金会計領収書紛失の補てんについての説明があった。内訳は、出金伝票 No.126 のInstagram パネル作成用スチレンボード代 3,080 円、出金伝票 No.127 の Instagram パネル作成用ラッカースプレー代 753 円、出金伝票 No.128 の Instagram パネル作成用デザインカッター代 108 円、出金伝票 No.130 の Instagram パネル作成用 OA ラベルシール代 2,160 円、出金伝票 No.135 の秋季慶早戦撤収にて使用するレンタカーの給油代 747 円、出金伝票 No.131 の秋季慶早戦運搬代 90,000 円である。担当者より、これが独自財源から交付金用の口座に移されたこと、またその事実を来年の監査で確認してほしいとの旨が伝えられた。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(14) 応援指導部の交付金特別支出承認申請

応援指導部より交付金特別支出承認申請が上程された。その内容は、①渉外活動の為の交通費 656 円(82 円郵便 7 件、82 円切手 1 枚)である。

全国慶應学生会連盟より項目が違うとの指摘があり、担当者より交通費の表記を通信費に訂正すると

の回答した。

全塾協議会は修正案を全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(15) 應援指導部の交代承認申請

應援指導部より交代承認申請が上程され、新主将に菱田幸太郎、新会計に中林典子、新リーダー部会計に工藤貴弘、新吹奏楽団会計に佐藤由実、新チアリーディング部会計に斉藤まりあが就任した。

担当者より主将と会計陣が交代し、リーダー部会計の役職が新しく設置された旨が報告された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

(16) 全塾協議会情報管理規則制定の発議

塾生代表より全塾協議会情報管理規則制定の発議がなされ、事務局長より誤字の修正を行った旨が報告された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表 村野元紀は本決議を承認した。

9. 連絡事項

(1) 次回全塾協議会の日程

事務局長 丹羽直也は、全塾協議会規約 第 19 条に基づき次回全塾協議会定例会の日程について諮ったところ、次回全塾協議会は 2017 年 1 月 16 日(木)に開催となり、詳細は追って連絡する運びとなった。

10. 閉会宣言

事務局長 丹羽直也が閉会を宣言し、20:58 に閉会した。